

### ◎創世記8章1―5を読みましょう

1. ノアと家族、そして動物たちは 150 日間(五ヵ月間)、箱舟の中でどんな生活だったか。
2. 「神は…覚えておられた(心に留めておられた)」とはどういうことですか。
3. 「大雨がとどめられた」「水は…引いていった」「減り始めた」、これらはどういう状態か。

### ◎創世記8：6―14を読みましょう

4. ノアが「鳥」「鳩」を放った目的はなんですか。
5. ノアは鳩のくわえた若葉を見て、どのように思いましたか。
6. 「六百一年目の第一の月の一日」「第二の月の二十七日」とは、何を表していますか？

### ◎創世記8：15―22を読みましょう

1. 「神はノアに告げられた。」ということから、何がわかりますか。
2. 16、17節の神の言葉にはどんな意味がありますか。
3. ノアは箱舟から降りて最初に何をしましたか。また、それは何を表しているものですか。
4. 「主は…芳ばしい香りをかがれた」「心の中でこう言われた」とは、どういう意味ですか。
5. 神はなぜ大地にのろいをもたらしはしないと約束されたのですか。
6. 神はなぜ「地が続くかぎり」という恵みの言葉を約束されたのですか。

### ◎まとめ

「神を信じる」とは、どういうことですか。例えば、宗教改革者のM.ルターは「委ねること」、メランヒトン「確認すること」、カルヴァンは「服従すること」と解したと言われています。

\*終わりに、今朝の学びのタイトル(主題)を考えてみましょう

「

」